

今後の地域の会のあり方について（アンケート集計結果）H18.11.1 現在

○地域の会委員 24名

○アンケート回収分 22名

1 定例会のあり方について

1) 開催回数

- a) ほぼ現行通り（毎月1回開催） 17名
- b) 少し減らしたほうが良い 4名
- c) その他 1名

- ・ 毎回出席出来るわけでもないからほぼ現行通り。
- ・ 希望的には減る方が好ましいが、現状ではもうしばらく月1回程度だと思う。
- ・ 視察、勉強会も数に入れて月1回。
- ・ 2ヶ月に1度程度（2名）。
- ・ 3ヶ月に1回。

2) 開催日時

- a) ほぼ現行通り 16名
（毎月第1水曜の午後6時30分から、夏場は7時から）
- b) 休日（土・日）の昼間の開催も考えたほうが良い。 2名
- c) その他 4名

- ・ 視察等が土日や休日が当てられるので、現行通りでよろしいかと思う。
- ・ 年間を通して18:30からが良いと思う。冬場の19:00からは終了時間が遅くなる。
- ・ 3ヶ月に1回とし、第1水曜日の午後6時30分とする。
- ・ 個人的に第1と第3水曜日以外の日のほうがありがたい。
- ・ 毎月第2火曜日。
- ・ 冬場の土日、昼も良いが夏場は夜が良い。西山、刈羽に行くときは昼のほうが良い。
- ・ 土日の昼間は考えられない。

2 委員の定数・選任方法等について

1) 定数

- a) 現行通りの人数で良い（定数25名） 16名
- b) 若干、減らしたほうが良い 3名
- c) 半数くらいで良い 1名
- d) その他 1名
- e) 無回答 1名

- ・ 現在より少ないと市民の意見代表としては少ないと思われ、30人位になると又意見集約が難しいと思われるので現行通りで良い。
- ・ 出席率を考えると今のままで良いと思うが、減らしても20名位かと思う。
- ・ 15名程度での議論の方が良いが、参加団体をしぼるのも難しいだろう。出席率を考えて（欠席を見込んで）20名程度でも良いと思うのだが…。
- ・ 女性委員がもう数人ほしいと思う。
- ・ 人数は現行程度と思うが、出身団体をもっと一般的な団体としてはどうか？

2) 選任方法（複数回答可）

- | | | |
|-------------------------|-------|-----|
| a) 人選は行政で行ったほうが良い | | 5名 |
| b) 一定数（2～4名程度）公募したほうが良い | | 14名 |
| c) 現委員が大幅に変わらないほうが良い | | 7名 |
| d) 総入れ替えをしたほうが良い | | 4名 |
| e) その他 | | 3名 |

- ・ ほぼ現行通り。
- ・ やっと委員相互が信頼しながら、各々の意見を言える環境になってきた。ずっとでなくとも、時期は要の年になりそうでもあるので、大幅に入れ替えずにやってみた方が良いと思う。
- ・ 委員は各々の所属団体から出ているので、人選についても基本的にはその組織にゆだねることだと思う。ただ大幅な入れ替えはないほうが良いと思う。
- ・ 他の会は存じ上げないが、出席率がよく、全員何かしらの意見を持ち発表している現在の委員の総入れ替えは考えなくて良いと思う。
- ・ 入れ替えは必要と思う。同じ考えの人ばかりでは話が広がらないし、いろいろな考え方があっていいと思う。この会のよさでもある。公募するとしたら1～2名ではないだろうか。
- ・ 反対派、推進派の立場であっても別の人の考えが必要なので、総入れ替えしたほうが良い。
- ・ 賛成と反対の人数のバランスを取るべき。
- ・ 一定数公募したほうが良いが、但し応募にくる顔ぶれをよく見ないと、何の会にも応募してくる人がいるので要注意。

3 定例会の内容について

1) 委員相互の意見交換

- | | | |
|----------------------------------|-------|----|
| a) 相互の意見交換会を設けたほうが良い | | 7名 |
| b) 相互の理解を深める為、非公開の意見交換会を設けたほうが良い | | 7名 |
| c) その他 | | 7名 |
| d) 無回答 | | 1名 |

- ・ ある程度は可能かも知れないが、立場上難しいと考えられるので、非公開がいいと思う。
- ・ 「地域の会」は透明性を確保することが目的で結成されているので、基本的には必要ないと思う。行うなら非公開。
- ・ 何でも言い合えることは大事。委員と事務局だけの意見交換なら、手をあげて定例会時に発言しない人でも意見が出来るのではないかと思う。
- ・ 今の委員選出方法では意見交換は無理である。
- ・ 専門的な意見等がでて知識の無い人は理解がむずかしい。
- ・ 原子力発電所に関して異なる意見を持っている人が、交わる事は無いと思う。委員相互の理解を深める必要は無いと思う。
- ・ 会の目的が理解を深める為であるが、一定程度以上の理解は無理。
- ・ 意見交換はあって当然ですが、具体的な問題を介して行うことが大切と思う。意見を述べ合うとき、事実確認が異なると不毛な意見の言い合いになるように思う。
- ・ トラブル隠しから4年が経過し、その後地域の会の役目も果たしたような気がする。トラブルも即プレス等で公表、公開されており地域の会は来年3月末をもって解散してよいと思う。

2) 今後のテーマについて

(今後、地域の会でとりあげたいテーマ等をお書きください。)

- 地震や地盤の問題。
- 原発の耐震指針改定について。
- 新耐震指針に基づく柏刈原発の補強工事はどのように行われるのか。

- 被ばく。
- 原発施設の放射能汚染の現状。
- 原発からの放射能物質排出の現状。
- 放射性廃棄物、使用済み核燃料 etc。

- 雇用。
- 原子力発電所の安全運転。
- 原発の安全性に関係する事象について、トラブルがあったらすぐに問題提起しては？
- 原発の検査制度見直しについて。
- 原発の高経年化対策について。(3名)
- 原発の老朽化について。(2名)

- プルサーマル導入。
- プルサーマルについて危険性、問題点についての学習。
- 地層処分の事、プルサーマルの事等はさけては通れないと思う。一度、最初は非公開でも話し合ってみる必要はあるように思う。

- 現実的なエネルギー源の現状と原子力の有用性について。
- 今後のエネルギーについて。
- 国の原子力政策の方向性？(国際的にも考えて、学習会的に?)

- 不祥事前に計画した対策と実績と効果についての評価。
- 立地地域の利点と問題点。
- コミュニケーションのあり方。
- 透明性とは何か。
- 市民の目線で見た議論を！

- 県も市も国に「規制機関の独立」を求めている。その内容を聞いて地域の会(委員)の意見を付け加えたらどうか。
- 多くの委員がわからない、一人よがりの学術論は少なめに。学術論をやるのであれば委員だけの会で一度説明してから公開の場でやったらどうか。それなら委員も理解できる。
- 地域の会の本来の目的である、透明性に関してはプレス発表が定着しているので、毎月少数の委員に説明する必要はない。2期が過ぎたら地域の会自体の必要性を考えた方が良いと思う。一部質問のための質問を楽しんでいる人がいる。
- 今後の国のエネルギー政策の方向性から考えても、原子力発電への依存は国際的にも、国内のエネルギー、環境問題等を見ても重要性は増すものと思う。この点から考えても、現場を常に監視する又意見する機関の“地域の会”の必要性は、当地域のみならず全国的に機関の設置を私たちは切望し、全国的にPRする事を強く検討する必要の時に来たと思ひ提案する。

4 次年度の視察先について

(次年度の参考として、視察先の案がありましたらお書きください。)

- ・ 事務局に一任
- ・ 福島浜通り
- ・ 福島第 1、第 2 原発一目的高経年化対策の実状視察
- ・ 中部電力 浜岡原発
- ・ 浜岡原発はどうか。事故の後処理がどうなっているか
- ・ 浜岡原発タービン、翼、ヒビ etc。トラブルのあった所に興味有
- ・ 福岡県玄海発電所
- ・ 東電の本社、配電送電計画
- ・ 原子力研究機関
- ・ 放射線利用施設
- ・ 省エネルギー対策の先進地
- ・ 新エネルギー対策に取り組んでいる企業など
- ・ 原子力の医療利用の施設見学
- ・ 原子力の部品工場
- ・ 原子力燃料の貯蔵施設

5 その他

- ・ 会議の時間を原則 2 時間以内としてほしい。

事務局：柏崎原子力広報センター

945-0017 柏崎市荒浜 1-3-32

TEL：0257-22-1896 FAX：0257-32-3228 E-Mail：info@tiikinokai.jp